

Julabo Case Study

36

JULABO PRESTO® W91tt

100Lの反応容器を+20°Cで運転した際の温度安定性を試験しました。



目的:

PRESTO®W91ttと100Lのガラス反応容器を接続し温度安定性試験を行います。

W91ttは2.0mのメタルホースと接続します。

W91ttでは+20°C設定で運転行います。

試験条件:

使用機種	ユラボ社製 PRESTO® W91tt
冷却能力	+20°C 11.2kW 0°C 10.0kW -20°C 9.5kW
加熱容量	36kW
バンドリミット	∞
ポンプ圧	0.40bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL80
反応容器	100Lガラス製反応容器(ブツヒ・グラス・ウスター) (容器内にはユラボ社製サーマルHL80を 100L充填しています)
温度制御	外部制御(ICC)

試験結果:

次ページのグラフをご参照下さい。W91ttで+20°Cまで加熱します。その後、反応容器内の温度を測定し、温度ブレは最大で±0.01Kとなりました。

環境:

室温 +20°C

湿度 45%

電源 400V/50Hz/3相

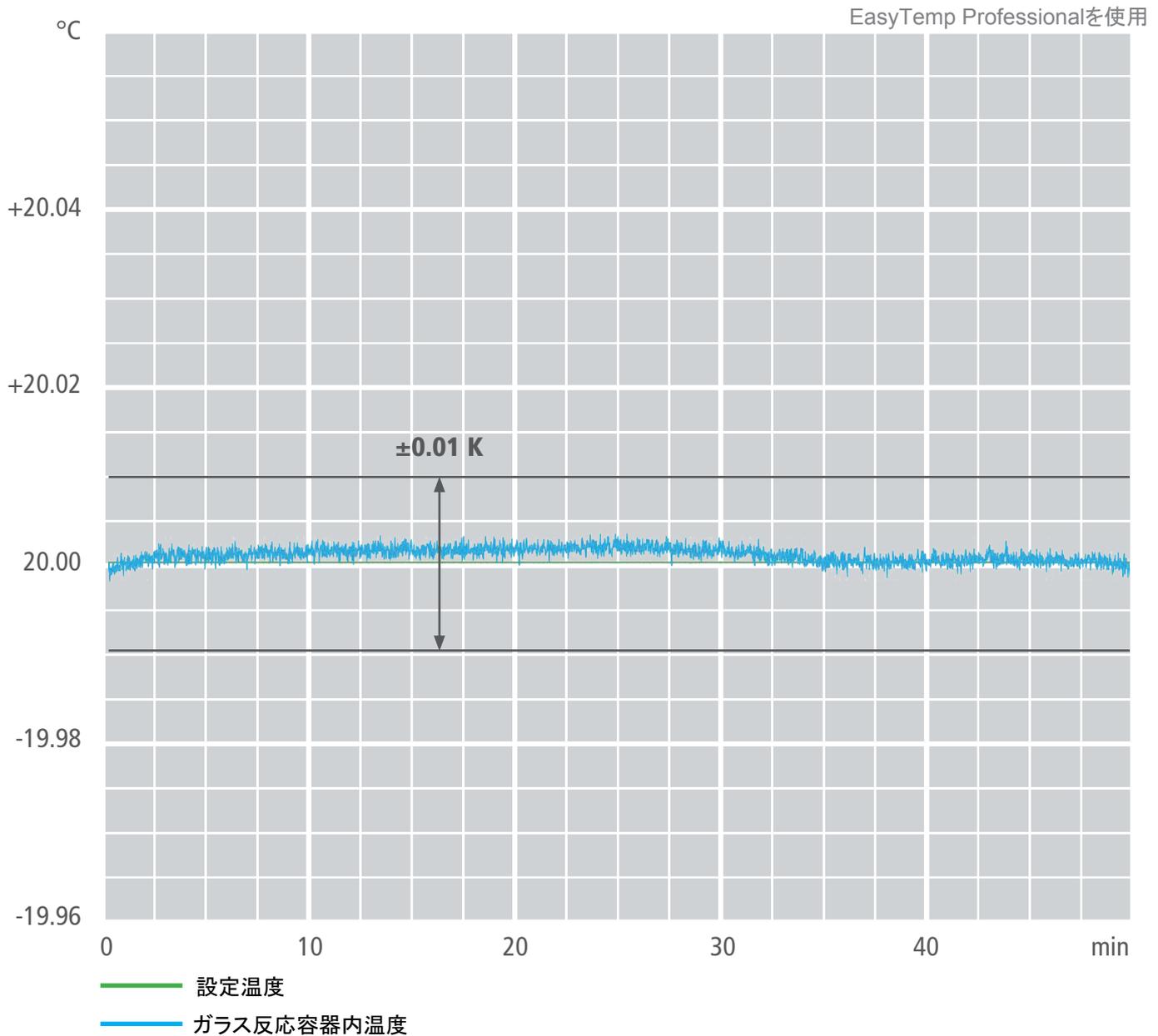


情報:

耐久性のあるPt100PTFEコーティングセンサーを使用できます。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



情報:
ポンプ圧調節機能も搭載。
PRESTOには希望のポンプ吐出圧に設定が可能です。



情報:
PRESTOはイーサネットインターフェイス搭載



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0